

## ◆ 今週のコメント

- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)があります。本年の累積報告数は6例となっています。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が4例(10歳未満男性, 60歳代及び80歳代女性(2例))あります。本年の累積報告数は13例となっています。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており, ワクチンによる予防が重要となります。予防接種法改正により, 平成25年4月から小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種化, 平成26年10月からは高齢者(成人用)肺炎球菌ワクチンが定期接種化されました。詳細は, 下記ホームページを御参照ください。
  - 京都市情報館ホームページ  
「京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種/協力医療機関検索はこちら)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
  - 「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

小児のワクチン接種について, 平成28年3月1日(火)から7日(月)の7日間, 4月からの入園・入学に備え, 保護者の方々の予防接種への関心を高め, 接種漏れを見直していただくことを目的に, 公益社団法人日本医師会, 公益社団法人日本小児科医会及び厚生労働省が主催となって「子ども予防接種週間」を実施します。詳細は, 下記のホームページを御覧ください。

- 厚生労働省ホームページ  
「平成27年度「子ども予防接種週間」の実施について」  
[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/topics/tp130117-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/topics/tp130117-1.html)

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

- ・ 京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は25.22(1,715例)となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 4例(第4週追加分を含む)【1月以降の累積報告数 13例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

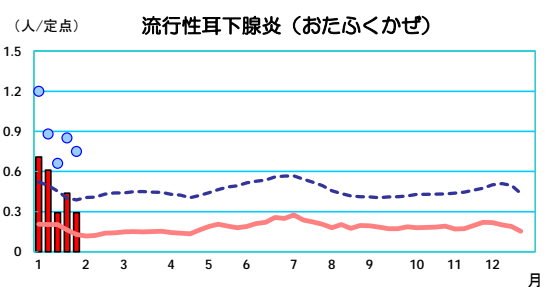
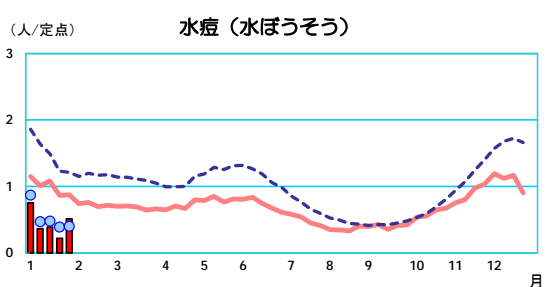
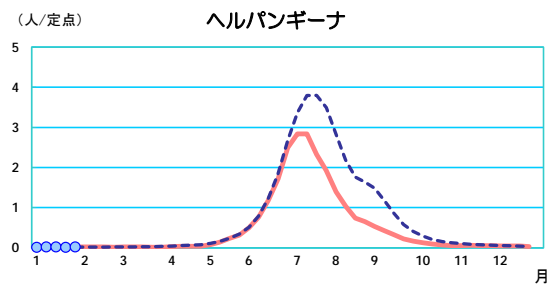
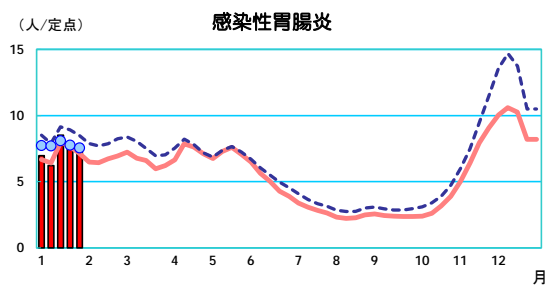
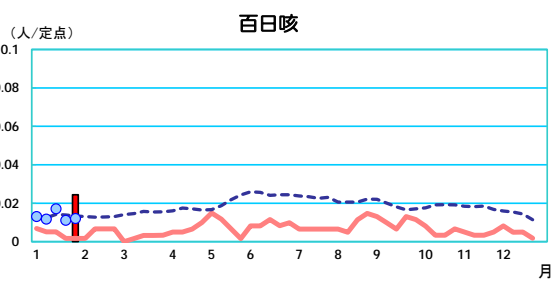
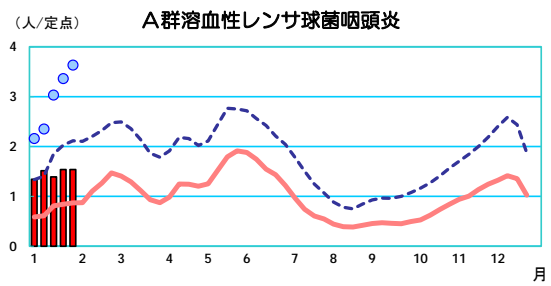
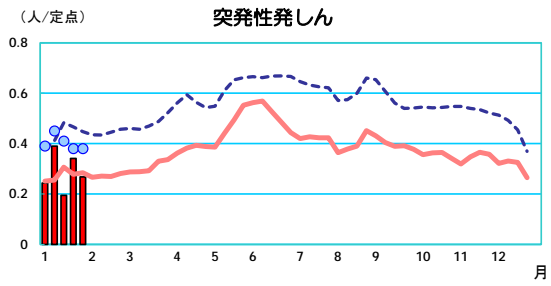
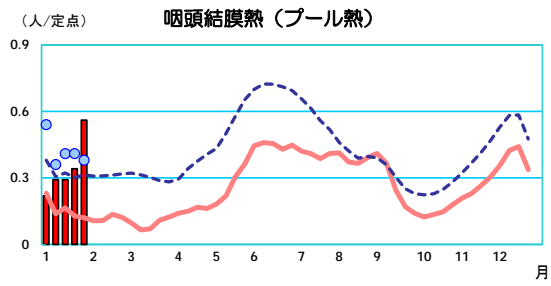
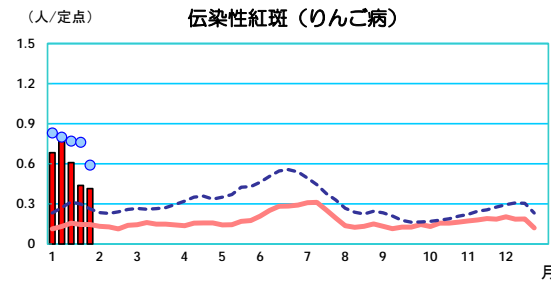
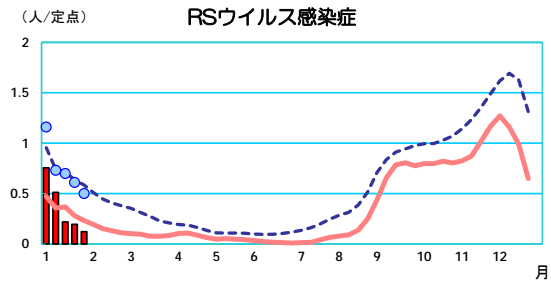
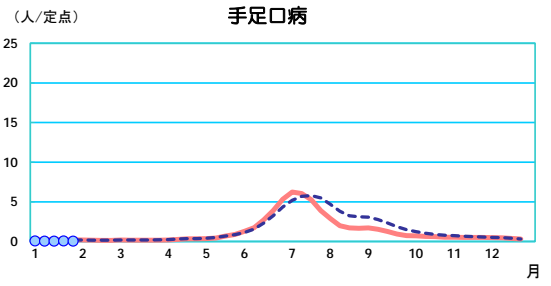
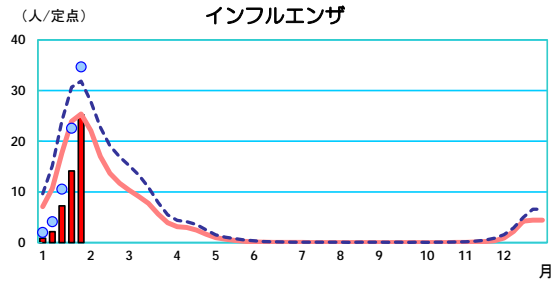
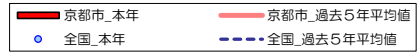
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	25.22	1,715
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.76	318
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.54	63
	③ 咽頭結膜熱	0.56	23
	④ 水痘	0.51	21
	⑤ 伝染性紅斑	0.41	17
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成28年2月12日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



## 第5週(2月1日～2月7日)トピックス: <インフルエンザ>

### 京都市及び全国の発生動向

京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は25.22(1715例)となっています(図1)。平成28年第2週に流行が始まり(表1)、例年と比較して1箇月程度流行が遅れたものの、報告数が急増しています。本シーズンと同じく年明けに流行期入りした平成24年/25年シーズンの場合、ピーク週の定点当たり報告数が31.22(第5週)と流行が低く推移したわけではないことから(表1)、発生動向に注意が必要です。全国の定点当たり報告数も34.66と増加し、警報レベル「30」を超えました(図1)。24都道府県で警報レベルを超えており、近畿では多い順に大阪府(31.64)、兵庫県(30.06)となっています(図2)。本市におけるインフルエンザ患者数は今後さらに増加し、まもなくピークを迎えるものとみられます。

### 症状及び感染経路

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は咳、くしゃみ、会話等による飛沫感染で、他に手指を介した接触感染もあります。感染後、発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが現れ、鼻水・咳などの呼吸器症状が続きます。いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いことが特徴です。小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している者では肺炎を併い重症になることがあります。

### 予防

感染予防としては、飛沫感染対策の咳エチケット(マスクを着用したり、咳をする際にティッシュやハンカチで口を覆うなど)を行います。接触感染対策として手洗いによる手指衛生を徹底することが重要です。特に高齢者や基礎疾患のある方、妊婦、疲労気味の方などは人混みや繁華街への外出を控えましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

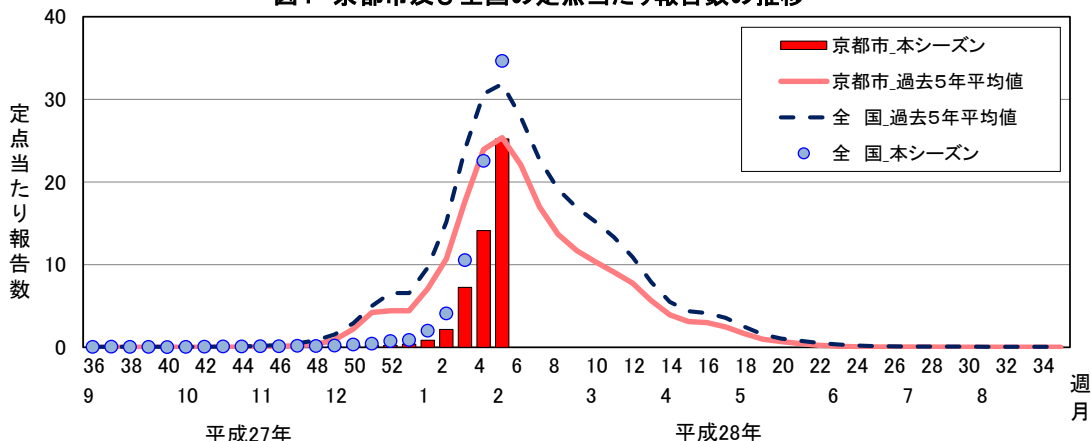
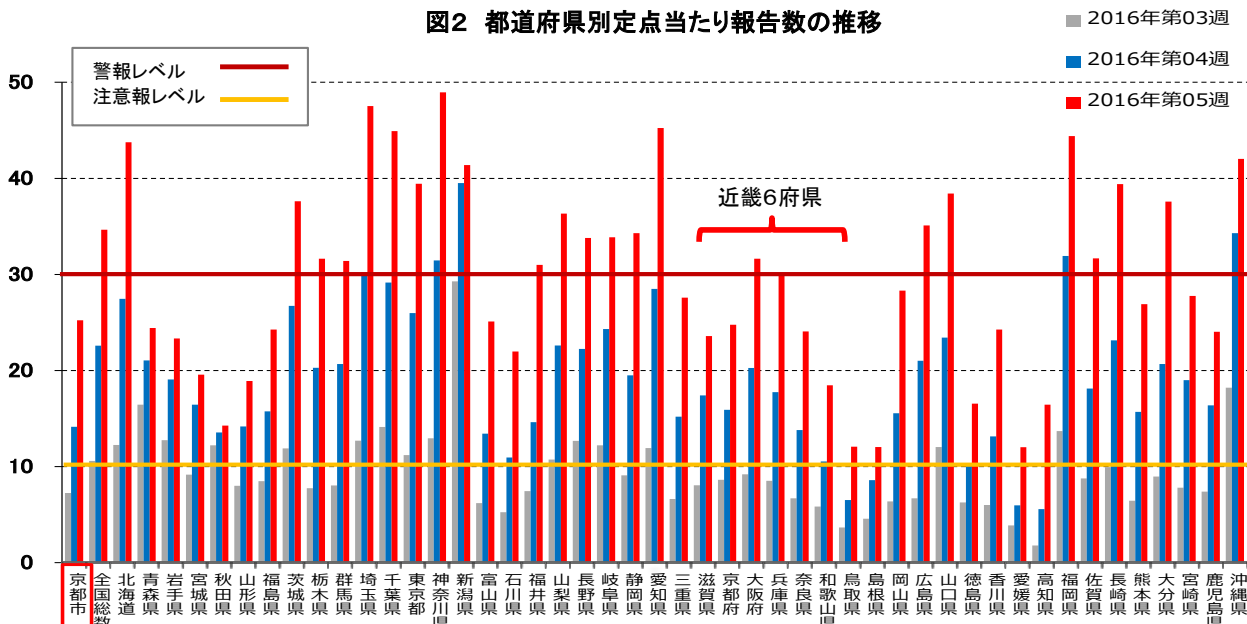


表1 京都市の過去5シーズンの流行状況

シーズン	H22/H23	H23/H24	H24/H25	H25/H26	H26/H27	H27/H28
「1」を上回った週(流行開始)	第50週	第51週	第1週	第52週	第49週	第2週
ピークの週	第4週	第5週	第5週	第5週	第52週	
ピーク週の定点当たり報告数	20.73	38.89	31.22	37.19	28.63	

図2 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第5週

疾病,行政区別報告数

平成28年2月1日～平成28年2月7日

データ入手日:平成28年2月12日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	76	-	3	1	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
上京	100	-	-	8	7	1	-	1	-	-	-	-	-	2						
左京	274	-	-	3	36	2	-	2	1	-	-	3	-	-						
中京	93	1	1	-	31	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
東山	73	1	-	1	27	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	102	-	-	15	13	1	-	-	-	-	-	2	-	2						
下京	27	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	246	-	3	1	31	3	-	3	1	-	1	-	-	-						
右京	198	1	10	12	52	5	-	3	2	-	-	-	-	2						
伏見	290	2	4	20	53	6	-	6	5	1	-	5	-	-						
西京	236	-	2	2	59	-	-	1	2	-	-	1	-	-						
京都市計	1,715	5	23	63	318	21	-	17	11	1	1	12	-	6	-	-	1	-	-	

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	10.86	-	0.75	0.25	1.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-						
上京	20.00	-	-	2.67	2.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	2.00						
左京	39.14	-	-	0.75	9.00	0.50	-	0.50	0.25	-	-	0.75	-	-						
中京	18.60	0.33	0.33	-	10.33	0.33	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	
東山	24.33	0.50	-	0.50	13.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	14.57	-	-	3.75	3.25	0.25	-	-	-	-	-	0.50	-	2.00						
下京	9.00	-	-	-	1.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	49.20	-	1.00	0.33	10.33	1.00	-	1.00	0.33	-	0.33	-	-	-						
右京	24.75	0.20	2.00	2.40	10.40	1.00	-	0.60	0.40	-	-	-	-	2.00						
伏見	26.36	0.29	0.57	2.86	7.57	0.86	-	0.86	0.71	0.14	-	0.71	-	-						
西京	33.71	-	0.50	0.50	14.75	-	-	0.25	0.50	-	-	0.25	-	-						
京都市計	25.22	0.12	0.56	1.54	7.76	0.51	-	0.41	0.27	0.02	0.02	0.29	-	0.60	-	-	1.00	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第5週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年2月1日～平成28年2月7日

データ入手日:平成28年2月12日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1,715	2	17	54	65	63	112	122	138	137	115	98	272	63	70	126	130	59	46	16	10
RSウイルス感染症	年齢3	5	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		23	-	1	4	3	1	4	2	3	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		63	-	1	2	6	4	10	11	5	6	3	4	6	-	5	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		318	1	16	37	33	34	22	23	24	18	15	12	38	8	37	-	-	-	-	-	-
水痘		21	2	-	3	3	3	2	2	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		17	-	-	-	3	3	3	2	1	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	-	4	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		12	-	-	-	-	2	1	1	2	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	25.22	0.03	0.25	0.79	0.96	0.93	1.65	1.79	2.03	2.01	1.69	1.44	4.00	0.93	1.03	1.85	1.91	0.87	0.68	0.24	0.15
RSウイルス感染症	年齢3	0.12	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.56	-	0.02	0.10	0.07	0.02	0.10	0.05	0.07	0.02	0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.54	-	0.02	0.05	0.15	0.10	0.24	0.27	0.12	0.15	0.07	0.10	0.15	-	0.12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		7.76	0.02	0.39	0.90	0.80	0.83	0.54	0.56	0.59	0.44	0.37	0.29	0.93	0.20	0.90	-	-	-	-	-	-
水痘		0.51	0.05	-	0.07	0.07	0.07	0.05	0.05	0.07	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.41	-	-	-	0.07	0.07	0.05	0.02	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.27	-	0.10	0.12	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.29	-	-	-	-	0.05	0.02	0.02	0.05	0.12	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.60	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.20	-	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第5週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年2月12日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	26	58	148	493	961	1,715
RSウイルス感染症	29	31	21	9	8	5
咽頭結膜熱	3	9	12	12	14	23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	55	62	57	63	63
感染性胃腸炎	119	286	255	349	317	318
水痘	10	31	15	16	9	21
手足口病	-	2	1	1	2	-
伝染性紅斑	3	28	33	25	18	17
突発性発しん	6	10	16	8	14	11
百日咳	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	2	-	3	2	3	1
流行性耳下腺炎	6	29	25	12	18	12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	1	-
流行性角結膜炎	-	3	5	1	-	6
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	221	542	596	985	1,428	2,194

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.38	0.85	2.18	7.25	14.13	25.22
RSウイルス感染症	0.71	0.76	0.51	0.22	0.20	0.12
咽頭結膜熱	0.07	0.22	0.29	0.29	0.34	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	1.34	1.51	1.39	1.54	1.54
感染性胃腸炎	2.90	6.98	6.22	8.51	7.73	7.76
水痘	0.24	0.76	0.37	0.39	0.22	0.51
手足口病	-	0.05	0.02	0.02	0.05	-
伝染性紅斑	0.07	0.68	0.80	0.61	0.44	0.41
突発性発しん	0.15	0.24	0.39	0.20	0.34	0.27
百日咳	-	-	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	0.05	-	0.07	0.05	0.07	0.02
流行性耳下腺炎	0.15	0.71	0.61	0.29	0.44	0.29
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	0.10	-
流行性角結膜炎	-	0.30	0.50	0.10	-	0.60
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1.00
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	5.14	12.88	13.48	19.33	25.60	38.33

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。